

校長室だより No 1

自己紹介と教育に対する考えを

2024年 4月26日 柏市立富勢小学校 校長 梅津 健志

4月1日に富勢小学校に着任した梅津健志（うめづたけし）と申します。富勢小学校よりも1歳年上の土小学校から異動してきました。再任用校長2年目となりますが、若者に負けず元気にやっていますのでよろしくお願いいたします。

教員としての経歴は、教諭として野田市、流山市、柏市の小学校で勤務、最初の教え子は今年50歳になります。その後柏市教育委員会に通算11年、千葉県教育庁に2年と教育行政には13年在職し、校長としては、酒井根東小・土小に勤め、このたび3校目となる富勢小学校に着任をしました。教員としては国語科と総合をテーマに実践をし、行政職としては学力向上や教員研修の仕組みづくりを行ってまいりました。

教育という仕事は「子供の今を育てつつ、未来の社会を創る仕事」と考えております。そこで子供たちが大人になる日本の社会の予測では、人口減少・少子高齢化の世界も未経験となる、先の見通しが持ちにくい世の中になると言われています。つまり、教育や学校は大きな転換点に立っていると考えられます。日本は明治5年に様々な近代的仕組みがスタートして、昨年150年を迎えました。学校制度もその中に含まれていますが、他と比較して学校ほど仕組みが変わっていないものは無いのでは無いかとされています。

富勢小学校の学校教育目標は、富勢4校共通で「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 富勢の子の育成」です。今後、この目標が指している具体的な姿を今一度明らかにしていく営みを、職員と富学協の委員とPTAの皆さんとで、進めて参りたいと考えております。例えば、自ら学ぶという具体的な卒業時の姿として何を想定するのか、皆さんのイメージを出し合い共有できることを固めていくことを行っていきます。自ら学ぶ卒業時の具体的な姿として、「宿題が無ければ家庭学習は行わない」ということは無いですね。宿題を出すというも当たり前ですが、目標に照らすと宿題の意義も考え直していく必要があることに気づきます。今、教育界では「学校の当たり前を見直す」ということがされています。子供の将来を見据えて、今までの当たり前をチェックしながら、富勢小学校の教育活動を創っていきたくと考えております。今後、校長として考えや教育活動の説明などを学校HP校長室より発信をし、子供たちの周囲の多様な大人たちがベクトルを一つにして富勢の子の学びや成長に関わっていただけるようにしていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。